

11. 新・人生100年時代のサイエンス科 (2025年度)

【火曜日 授業予定表】 講師:

(調整中)

		午前		午後			
回	月日曜日	講座数	テーマ	内容	講師名	自主活動	内容
1	7月	①	①入学式&オリエンテーション(合同、大阪国際会議場)				
2	4月8日	1	講義	科学技術との付き合い方	中村征樹(大阪大)	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明	クラスオリエンテーション
3	22日	2	講義	ゲノム編集による生命の不思議	伊川正人(大阪大)	高大オリエンテーション(理事長によるコーダイの理念、目標等説明:映像)	終了後班役割分担
4	5月13日	3	講義	生物多様性から学ぶ、がん・老化の仕組み	石谷 太(大阪大)	クラス仲間づくり	・班各担当・班長決定 各担当別会議(代表者決定他)
5	20日	4	講義	若返りは血管の老化防止から	高倉伸幸(大阪大)	〃	クラス委員長決定、第1回遠足先検討
6	7月3日	5	講義	タンパク質の科学	山口 宏(関西学院大)	②社会への参加活動(準備活動)(活動事例研究)	
8	6月10日	⑤	★	⑤遠足			
9	17日	6	講義	PD-1と新しいがん免疫療法	石田靖雅(奈良先端大)	クラス仲間づくり	みんなで語り仲良くなる!「私の経験談、趣味、特技」懇親会
10	24日	7	講義	遺伝子・ウイルス・iPS細胞と「くすり」	水口裕之(大阪大)	〃	みんなで語ろう(授業の感想など)
11	1日	8	講義	自主活動(健康祭り説明、参加対応検討)		iPS細胞のこれから	「講義」高島康弘(京都大学iPS研究所)14:00開始
12	7月8日	9	講義	自主活動(フェスタ概要説明・クラス発表区分、展示・演芸)		抗菌剤が効かない感染症時代を迎えて	「講義」掛屋 弘(大阪公立大)14:00開始
13	15日	10	講義	腸内細菌と免疫	竹田潔(大阪大)	〃	フェスタのクラス発表内容(展示か演芸か)決定
8	夏休み						
14	9月9日	11	講義	植物と昆虫の相互関係	塩尻かおり(龍谷大)	〃	コーダイフェスタ発表内容検討
15	16日	12	講義	微生物によるプラスチック分解	吉田昭介(奈良先端大)	〃	コーダイフェスタ発表準備
16	30日	13	講義	微生物のバイオサイエンス	高木博史(奈良先端大)	〃	健康まつり参加準備・コーダイフェスタ発表準備
17	8日	④	④コーダイ健康まつり				
18	10月14日	14	講義	微生物のバイオテクノロジー	高木博史(奈良先端大)	〃	
19	21日	15	講義	免疫の老化を防いで若さを保とう	河本宏(京都大)	〃	コーダイフェスタ発表準備
20	4日	16	講義	食の安全(食中毒)	山崎伸二(大阪公立大)	〃	コーダイフェスタ発表準備仕上げ
21	11月18日	17	講義	世界の感染症(いかに防ぐか)	山崎伸二(大阪公立大)	〃	コーダイフェスタ発表準備仕上げ
22	19日	⑤	⑤コーダイフェスタ(豊中市立文化芸術センター)				
23	25日	18	講義	自主活動班別活動テーマ検討		海の豊かさを知ろう	「講義」澤田好史(近畿大学)13:30開始
24	2日	19	講義	共創社会のなかでのデザイン思考	市田秀樹(大阪公立大)	〃	班別活動テーマ検討
25	12月9日	20	講義	水素 ~作る・貯める・運ぶ・使う~	井上博史(大阪公立大)	〃	〃
26	16日	21	講義	自主企画講座(古賀先生?)		活動テーマ発表	自主活動テーマ発表会、校外学習報告会等
	冬休み						
27	13日	22	講義	これからの宇宙開発と生命(誕生)の痕跡を求めて	寺田健太郎(大阪大)	成果発表会対応	成果発表会内容検討
28	1月20日	⑥	⑥社会への参加活動・・・(仮日程;1学期~3学期の間に活動日を1回設定)				
29	27日	23	講義	最近の新薬創生技術	坂田恒昭(大阪大)	成果発表会対応	成果発表会準備
30	3日	24	講義	遺伝子組み換え食品	半場祐子(京都工繊大)	〃	成果発表会準備
31	2月17日	25	講義	地球温暖化・都市温暖化	半場祐子(京都工繊大)	〃	成果発表会準備仕上げ
32	24日	26	学習成果発表会				
33	⑦修了式						
34	3月3日	⑧	⑧・⑨卒業旅行(1泊2日)				
35	4日	⑨					
授業(自主企画、成果)				26(講座数列1~26)		2025.01.11	
学習事業(①~⑨)				9(講座数列①~⑨)			
合計				35			

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。